

SFANEWS

Shiga Football Association News

2019.10 No. 59

発行 公益社団法人
滋賀県サッカー協会

責任者 専務理事 前田 康一

shigafa@oregano.ocn.ne.jp

http://www.shigafa.com/

〒524-0212 滋賀県守山市勝部町2439番地 TEL:077-585-0982 FAX:077-585-0983



滋賀県サッカー協会創立70周年の今年！

(公社)滋賀県サッカー協会(SFA) 会長 森津 陽太郎

2019年度は元号が変わり「平成」から「令和」へと時代が進みました。この記念すべき令和元年は、滋賀県サッカー協会にとっても大事な年です。滋賀県サッカー協会が設立され70年という節目を迎えました。滋賀県サッカー界は長い歴史と伝統の中で、世界で活躍する選手、指導者そして審判を数多く輩出してきた素晴らしい土壤を持っています。昨年のロシアワールドカップで活躍した乾貴士選手や今年フランス女子ワールドカップで活躍した中島依美選手はまさにそのことを証明しています。

2024年には滋賀県で2巡目の国体が開催されます。そのこともあり、滋賀県サッカー協会としては「サッカー競技の普及、発展を図ると共に、県民の豊かなスポーツ文化の振興、心身の健全な発達に寄与する。」という理念をベースに、各種別、連盟、委員会が強化策を進めているところです。2024年に選手として活躍できる年代の強化はもちろん、この取り組みが

今まで以上に滋賀県サッカーの普及・発展・強化につながっていくような仕組みをしっかりと作ることも大事だと考えています。そのことが、Jリーグ、なでしこリーグに参入を果たすチームの誕生やサッカー専用スタジアムの建設につながっていくのではないかと考えています。今年は久しぶりに茨城国体の少年の部に滋賀県代表が近畿ブロック大会を勝ち抜き出場します。国体に向けての取り組みが少しずつ成果を上げているのではないかと思います。良い結果を期待しています。引き続き滋賀県サッカー協会としても努力していかねばならないと思っています。

最後に、サッカーが県民に愛されるためにも、滋賀県サッカー協会のビジョンの最後に掲げている「常にフェアプレーの精神を持ち、国内や世界の人々と友好を深め、広く社会に貢献する。」ことと合わせて、暴力・暴言・ハラスメントの根絶に向けての取り組みにも力を入れていきたいと思っています。皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

天皇杯 JFA第99回全日本サッカー選手権大会を終えて

MIOびわこ滋賀



【戦評】

前半立ち上がりは全体的に落ち着いて試合に入ることが出来たと言える。

自分たちでボールを保持しシュートまで持ち込むことができた。

以降もボールを保持する時間も長く攻め込むシーン

もあったが、ゴールへの仕掛けのところで精度が上がらずシュートまで行けずに0-0で前半は終了

【HT】

ボールは自分たちで保持して後は先制点を取るだけという流れになっていたが、相手に対して一瞬の間を与えてしまうと流れが変わり先制を許す可能性がある試合だったため、このままボールを保持し、局面で厳しくボールを奪うように指示。

後半立ち上がりもポゼッション率では上回っていたものの、前半よりも相手がボールを保持させる時間が長くなった。

その後先制点は狙うも、77分相手FKから失点。

前の選手を交代させ得点を狙う。

しかし一瞬の間を突かれ86分に再び失点。

後半も終了。

結果は0-2で敗戦となった。

【活動全般・総括】 報告(中口 雅史)

昨年は1回戦で岐阜県代表に勝利し、2回戦で北海道コンサドーレ札幌と対戦し惜しくも敗戦となった。

今年度こそはJリーグチームに勝利すると意気込み挑戦した

天皇杯であったが、1回戦では同じくJFLに所属するFC大阪と対戦。

同じカテゴリー同士という事もあり勝ちにこだわり挑んだが、惜しくも1回戦敗退となってしまった。

このような結果に終わってしまった中ではありますが、今回の経験は来年の天皇杯で必ず成果をあげることが出来ると考えております。

また2024年には滋賀国体が開催されますので、FA杯で勝ち続けるとともに国体への出場も目指し、また天皇杯では妥当Jリーグクラブを目標に今後奮闘していきたいと思っております。

最後になりましたが、滋賀県サッカー協会関係者の皆様、滋賀県体育協会の皆様、そして関西社会人リーグに所属する関係者、滋賀県内の社会人リーグで活動されている皆様方のご理解、ご支援いただきましたこと心より感謝しております。



第43回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントを終えて

びわこ成蹊スポーツ大学サッカー部 コーチ 石間 寛人

関西学生サッカー選手権大会を創部以来初の優勝で終え、3年ぶり3回目の出場となった総理大臣杯。本学サッカー部は2回戦からの登場。相手は2年前のインカレ2回戦と同じ相手の鹿屋体育大学（九州第2代表）。試合開始から相手にボールを持たれる展開となったが、DF2藤松、DF3森が相手FWに決定的な仕事をさせない。攻撃面ではこの試合がデビュー戦となった草津東高校出身の2年次生MF29葉賀が中盤で落ち着いたプレーを披露し、FW18井上が90分間で両チーム合わせて最多の6本のシュートを放つが再三の決定機を決めきれない。一進一退の展開が続く試合は延長戦に突入。均衡が破れたのは98分。井上のスルーパスに抜け出した途中出場のFW19小畑がペナルティーエリア内で倒されPKを獲得。これを井上が冷静に沈めて待望の先制点が生まれた。残り時間はGK1田中を中心に守りきり、1-0で勝利。準々決勝へと駒を進めた。

中1日で迎えた準々決勝、法政大学（関東第5代表）戦。相手は2回戦からスタメン6人を変更。一方本学は1人を変更し試合に臨んだ。試合は序盤から法政大に圧倒される。9分、22分、31分と得点を重ねられ、前半だけで3点のリードを許す。後半開始から両サイドハーフを入れ替え前線からボールを奪いに行き得点に繋げようとするが、63分に4点目を許す苦しい展開。70分に1点を返すもその後も相手の勢いを止めることはできず、追加点を奪われ1-6でタイムアップ。2年前のインカレ準々決勝では2-3で惜敗した相手であったが、シュート数は3本対25本。力の差を痛感させられるゲームとなった。



決勝戦は明治大学と法政大学の関東勢対決となり、明治大学の2連覇で幕を閉じた第43回大会。この大会を通じて感じたのは関東勢との『差』です。我々の試合はもちろんのこと、準決勝の2試合においても結果だけを見れば0-1（大阪体育大学vs法政大学）と1-2（関西大学vs明治大学）僅差ではありましたが、内容は関東勢が圧倒していました。高い技術に併せて一瞬の隙を作らない集中力。試合終了までぶれることのないメンタル面に『差』を感じました。

この『差』を埋めるためには『日常の変化』が必要だと感じています。日々のトレーニングから今まで以上に本気で打ち込んでいく必要があります。後期のリーグ戦を通して関東勢との『差』を埋め、冬の全国大会の舞台で必ずリベンジを果たしたいと思います。

最後になりましたが、びわこ成蹊スポーツ大学サッカー部への日頃からのご支援をいただいております滋賀県サッカー協会をはじめ、多くの指導者、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



全国高等学校総合体育大会を終えて

近江高校サッカー部 監督 前田 高孝

沖縄大会、7月26日、初戦大分高校戦0対2敗戦。今回大会は、私たちのスローガンである「Be Pirates」の意匠に込めた「チームの活気や立ち向かう勇気、そしてサッカーに夢中になる・させる」ことを体現した「近江サッカー」を全国の舞台でどこまで表現できるかが一つのテーマでした。

しかし、初の全国の舞台に立つ選手がほとんどで緊張から硬さの見える戦いでした。中でも今年のスタイルである相手の変化を見ながらボールをゴールまで持って行きチャンスを作ることは出来ていました。また、守備でもゴール前では体を張りシュートを防ぎ、個人技の高い選手には2人3人で対応しチーム全員で守っていました。しかし、一瞬の隙を突かれ2失点。そのまま試合終了。全国の舞台の雰囲気やその中での強豪校の勝負強さを痛感しました。

この敗戦から何を学ぼうと進化していくか。それが選手権までのテーマです。まずはプリンスリーグ・県1部・県2部を戦い抜きチーム内の競争を

今まで以上に激しくタフなチームになって選手権に臨みたいと思います。

選手権での初優勝に向け部員99人の力を一つに、ピッチ上や応援など全てにおいて県一番を目指して行きたいと思っています。



第34回クラブユースサッカー選手権 (U-15) 大会を終えて

MIOびわこ滋賀U-15 監督 卯田 貴之

北海道帯広市で開催された「第34回クラブユースサッカー選手権 (U-15) 大会」に、全8チームから成る関西代表として2年連続で出場いたしました。

グループステージでは鹿島アントラーズつくばに0-4で敗れたものの、アビスパ福岡U-15に5-2、パテオFCに5-1で勝利し、2勝1敗でグループ2位となりチーム初のノックアウトステージに進出することができました。

ノックアウトステージではラウンド32でモンティデオ山形庄内に6-1、ラウンド16ではコンサドーレ札幌に5-3で勝利しました。準々決勝となるラウンド8では今大会優勝のサガン鳥栖に1-6で敗れ、全国大会ベスト8という結果で大会を終えました。

昨年はこの大会で勝利することができなかつたので、まずは全国大会での勝利、そしてグループステージを突破しノックアウトステージでベスト16に選出されることを今年度のチーム目標として取り組んでまいりました。この目標を揺るがすことなくチーム一丸となったこと、それによってチーム力が大きくなったことが全国大会を勝ち取り、さらにはベスト8という結果につながった要因の1つだと思っております。

また日常においても、プレースピードが速く、球際が強く、テクニックが高い関西のトップレベルのチームとサンライズリーグで3月から毎週試合を重ねてきました。このサンライズリーグでの試合経験により、選手が大きく成長することができました。全国大会においても、レベルの高い試合を重ねる度に成長できたのだと思います。

さらにもうひとつ挙げるとすれば、連続で全国大会に出場できたことだと思います。昨年は初めてのことばかりでうまくいかないことがありましたが、今年はサッカー以外の準備が昨年より良かったことで試合の準備がしっかりでき、選手も試合に集中することができました。選手が経験によって成長するのと同じで、チームもスタッフも昨年の経験を活かして良い準備ができたのではないかと思います。

選手たちにはこの貴重な経験を今後活かしてほしいと思います。また我々も今回の経験によりこの日常を継続できるよう指導し、さらなる成長を遂げていきたいと思っております。

最後になりましたが、関係者の皆様方にたくさんの激励をいただきましたことを、心よりお礼申し上げます。



JFA第18回全日本O-50サッカー大会を終えて

SR2008 田中 毅

私たちのチームは“生涯スポーツとしてサッカーを楽しもう”をモットーにオーバー50、オーバー40のカテゴリーでそれぞれが活動を行っています。

今年は、オーバー50関西大会において、滋賀県代表として和歌山県代表に勝利し、そして強豪兵庫県代表（昨年全国大会ベスト4）に競り勝ち、決勝では大阪代表に敗戦こそしましたが、関西大会準優勝として全国大会出場を果たすことができました。

楽しみながらレベルの高い関西予選を突破することを目標に掲げ活動を続けてきた結果、滋賀県のシニア年代としては、久しぶりの全国大会出場となりました。

全国大会の結果は、予選リーグで初戦の熊本に開催地ホームの勢いに圧倒され敗戦 (0-3) し、次戦は最終的に本大会で

準優勝した香川に引分け (1-1)、3戦目の岡山には勝利 (2-1) したものの初戦の敗戦が響き、1勝1引分け1敗の結果で予選敗退となりました。

メンバーの半数が仕事の都合などで、当日早朝より新幹線や飛行機で開催地の熊本県大津町に向かったりと、ベストなコンディションで初戦を臨みませんでした。2日目からは徐々に調子を上げていくことができました。

チームの目標であった決勝リーグ (ベスト4) には届きませんでした。参加選手全員が出場を果たし、大きな怪我もなく、チーム一丸となってモットーである“サッカーを楽しむ”ことができたと思います。また、滋賀県出身の同級生がいるチームと対戦し、試合後、健闘をたたえ合う姿も見られ、全国大会ならではの素晴らしい雰囲気を楽しむことができました。“サッカー小僧”から“サッカーおじさん”になっても、変わらず夢中になってボールを追いかけ、チームメイトと一喜一憂する、この全国大会に参加できたことを、メンバー全員が幸せに感じています。

今回、チーム『SR2008』としては初の全国大会出場となりましたが、今後もオーバー50、オーバー40それぞれのカテゴリーで、サッカーを楽しみながら全国大会の舞台に立てるようにチャレンジしていきたいと思っております。そして、子供から大人まで、生涯を通して楽しめるサッカーの輪が、より一層広がることを願っております。

最後になりましたが、全国大会への参加に際し、滋賀県サッカー協会をはじめ関係者の皆様には、多くのご支援・激励をいただきましたことを心より感謝申し上げます。



JFAバーモントカップ第29回U-12全日本フットサル選手権大会を終えて

ROOTS FUTSAL CLUB 監督 前田 吉弘



JFAバーモントカップ第29回U-12全日本フットサル選手権大会滋賀県予選で優勝を飾り3年連続3回目の本大会出場を決めることができました。

対戦いただいた多くのチーム、関係者、保護者様のご理解ご協力があったからこそと感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

さて、昨年は滋賀県勢として第10回大会以来2度目のベスト8進出という素晴らしい成績を残し、今年度も決勝トーナメント進出、ベスト8を目標に本大会に挑みました。

全国大会は8月10日から12日にわたり東京、駒沢オリンピック公園屋内球技場および体育館で行われました。

開会式前日の9日より東京入りし足立区にあるミズノフットサルプラザ千住にて、交流のあるバーモントカップ広島県代表レブルー及び三重県代表ラピスタとTRMを実施し翌日の本戦に備えました。

10日開会式は駒沢オリンピック公園体育館で行われました。目標にしてきた大会、夢に描いた舞台、47都道府県が集まる開会式、勝ち抜いたチーム、選手たちのみが踏み入れることのできるアリーナ。最高の舞台でした。その最高の舞台上、名誉なことに令和元年開会式の選手宣誓は滋賀県代表が行うこととなり、ROOTS FUTSAL CLUBキャプテン大原永暉が素晴らしい選手宣誓を行ってくれました。是非、皆さんYouTubeでご覧下さい。

予選初戦、3年連続で初戦は過去に日本一に輝いたことのあるチームとの対戦と、今年度は4年前に日本一になり今大会も優勝候補にあげられる愛知県代表プリンカールFC(今大会優勝)。以前より交流があり、この春にも愛知の大会で対戦し、お互いに手の内を知るだけに、予選初戦が最大の山場といろんな事を想定し準備をしました。前半先制されるも直ぐに追いつき互角の好試合、前半を3対3の同点で折り返すも、後半地力に勝る相手に力尽き3対6で初戦敗戦。3年連続初戦が強豪と組み合わせと不運。ただまだ予選は終わりではなく残り2試合を大量得点で勝利しワイルドカードでの

決勝トーナメント進出を目指そうと気持ちを切り替えさせました。予選二戦目、鹿児島県代表、アンジョイFC。12対2で勝利し翌日の予選三戦目に望みを託しました。

11日予選三戦目、北海道代表プレイフル函館ジュニア(今大会ベスト16)。

1勝1敗、ワイルドカードでの決勝トーナメント進出のかかる大一番。他のグループリーグの結果からも勝利すれば決勝トーナメント進出が確定する。

前日の対戦相手の結果からも油断があったのか、前日からの疲れなのか精彩を欠く試合展開に先制される、直ぐに追いつくも、あつけなく勝ちこされ相手の勢いに呑まれてしまいました。滋賀県予選時より不安視していたチーム内での課題がここにきて露呈、タイムアウトに選手交代、流れを変える手立ては打つも一度狂った歯車は相手の勢いを止めることなく1対7の惨敗となりました。

予選リーグ敗退。本来の力が出せればと後悔の念に駆られるが、これが本来の力と重く受け止め、また子供たちの成長の為に邁進していきたいと思えます。

1%の成功を掴むための99%の準備と、子供たち自身のバーモントカップ全国大会への準備不足、また指導者のチーム造りの準備不足を糧に、また来年同じ場所でリベンジできるように準備をしたいと思えます。何より登録した12名の選手全員が全国の舞台上で戦えたこと、U-11の選手4名が全国での試合を経験できたことは大きな収穫でした。

フットサルの大会で、フットサルチームがサッカーチームに負けるわけにはいかないと、これからもフットサルの普及、育成、

またこのジュニア年代でのフットサル活動がこれからのフットボール人生において非常に有意義であることを広めていきたいと考えております。

最後になりましたが、日頃から応援いただいている皆様、また、本大会に向けてご支援いただきましたチームスポンサー様、関係各位の皆様には様々なご支援ご声援賜りました事を厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。



お知らせ

いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会近畿ブロック大会結果

【成年男子】	1回戦	滋賀	0-1	大阪
【女子】	1回戦	滋賀	0-0	奈良
			PK	8-7
	代表決定戦	滋賀	0-3	兵庫
【少年男子】	代表決定戦	滋賀	1-0	兵庫

本大会出場決定

9/29~10/3 少年男子は鹿嶋市にて開催

第74回国民体育大会 文化プログラム

全国都道府県対抗 eスポーツ選手権2019 IBARAKI 「ウイニングイレブン」の部 県代表チーム
オープン部の部 バンチャーズ
少年の部 近江高校
10/5-6 茨城県 つくば国際会議場にて開催

第29回 全国専門学校サッカー選手権大会

ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校が会場
10/21~26 長崎県島原市にて開催

第9回

滋賀県フットボールカンファレンス2019開催概要

主催 公益社団法人 滋賀県サッカー協会
目的 滋賀県のサッカーに関わる者(関係者、選手、指導者、審判等)が一堂に集い研修することで、滋賀県のサッカーの発展に寄与することを目的とする。
日程 2019年12月7日(土) 9:30受付開始予定
10:00開会予定/17:00終了予定
会場 草津アマカホール
(草津駅から徒歩約15分、草津市役所横)
受講料 無料(ただし、ABC級リフレッシュ研修の方は有料
詳細は後日連絡)

公益社団法人 滋賀県サッカー協会70周年記念式典

主催 公益社団法人 滋賀県サッカー協会
日程 令和2年(2020年)1月19日(土)
第一部 記念式典
第二部 祝賀会
会場 琵琶湖ホテル 瑠璃の間(大津市浜町2-40)
(JR大津駅より徒歩10分 京阪浜大津駅より徒歩5分)
*詳細につきましては、後日滋賀県サッカー協会HPにてお知らせします。